

### 第30回市民ふれあいトークー地域力を活かすまちづくりー

日時 平成23年5月27日 18:30~20:00

場所 庄公民館

#### 要約版

《市長》

改めまして皆様こんばんは。今日は、金曜日の夕方のご飯時の非常にお忙しい時間帯の時に大変多くの皆様にお越しいただきまして誠にありがとうございます。庄公民館での市民ふれあいトークは確か2回目になるのではないかと思います。去年の今頃でしょうか、来させていただいたように思っております。それから1年ほどの間の色々な市の状況とか、それから今非常に皆さんご関心があると思います東日本の災害とかそれから私ども倉敷市の防災のことなどにつきまして今日、まず私から、ご報告を申し上げまして意見交換というように形にさせていただければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

まず非常に皆さんのご関心が高いところだと思いますので東日本の災害のことにつきまして、最初にご報告を申し上げたいと思います。3月11日に災害が起こりまして、テレビを見ておりましたこれはもう全国から出動をしなければいけない災害だとすぐに思いました、うちの消防の部隊、それから給水部隊にすぐに準備をするように言いました。実際には次の日の朝に出発することになったわけですが、消防隊員が22名と赤い倉敷市の消防の車と救急車と合わせまして7台、給水タンクに倉敷市の水を詰めまして、とにかく東に向かって走るということで次の日の早朝に出発いたしました。出発しました時には行く場所も決まっていなかったのですが、途中の名古屋あたりで仙台と多賀城市の方に行くことになりました。うちの水道の職員さんが言うておりましたのは、行きましたら仙台の小学校のグラウンドに300メートル位列を作っていたらっしゃいまして、うちの給水車を拍手で皆さん迎えてくださったと言っております。また消防の車も岡山県倉敷市と書いてございますので、地域の皆さんが、わざわざ遠方から来てくださってありがとうございますと消防車に向かってお辞儀をしてくださったりとか、何か拝むようにしてくださったりとか、そういうことをしてくださって消防隊員も非常に気合が入って、しっかりやらんといかんということで、がんばったと言っております。それから医師、保健師を岩手県に出しております。大船渡市と陸前高田市、結構テレビでも出るかと思いますが、避難所の担当になっておりましたずっと巡回しまして健康相談をしております。私も5月の連休直後に倉敷市が今仕事をしております所に行きまして、大船渡の市長さんや、大きなものとしては現在のところ、宮城県の松島町に出しております「松島や、ああ松島」の日本三景の松島町がございまして、その災害のガレキを倉敷市が全部一人で担当しております、うちから職員が15人とトラック、ダンプそれからシャベルカーを全部向こうが浸かってしまっていて何も無いということで、全部倉敷市から運転していきまして、今や2ヶ月ほど向こうにずっと駐在しまして仕事をしております。結構大変でございましてわれわれの16年の台風災害の時の各地区で非常に大きな集積場をひとつずつ設けたことをご記憶の方もいらっしゃると思いますが、その大体一つ分ぐらいの分量が出ておりました。松島も観光地でございまして、倉敷市から同じ観光地として一生懸命支援をしたいと申しまして、松島の町長さんは、とにかく外国からもたくさんお客さんがいらっしゃいますので東北の復興のシンボルになるようにがんばりたいと言っております。

それから岩手県の遠野市、遠野物語の遠野でございまして、そちらに倉敷市のボランテ

イア拠点を設けています。御存知のように岩手県がこういうふうになりましたら、大船渡、陸前高田となっているのですけれども、沿岸部には全くライフラインとか何も無いので内陸の遠野の方にわれわれの職員が活動する拠点を最初に設けたわけでございます。

ここからみんなで車に乗り合いで行って一日活動して帰ってくるということをしてたんですけれども、それがあつた時期から全国から市民のボランティアの皆さんが活動いただけるということになりましたので、ここの遠野の拠点を向こうの公民館なんですけれども、それをひとつ全部お借りいたしまして、大体30畳、40畳位の畳の所があるのですが、そこに倉敷市から行かれた方に泊まっていたら、公民館で炊事場もありますので自炊をしていただけるようにここに作ってございまして夏ぐらゐまでの間にボランティアの拠点ということで設けている状況でございます。延べで今まで倉敷市の職員だけで約200名近く現地に行っております。また倉敷市の市民の皆様から大変多くの支援物資、それから義援金をいただきました。特にこの庄地区で御報告を申し上げたいのは私が大船渡の市役所に行きましたときに、ちょうど畳表を栗坂さんからいただいております。実は栗坂さんから、大変先見の明がございましていらっしゃると思ったんですが、最初の段階から畳表を御寄贈いただいてございまして、本当は最初の便で行く予定だったんですが、食料ばかり積みまして、それに実は乗らなかったんです。向こうの方に聞いてみましたら、ちょうど仮設住宅が出来てきたころだということでございまして。仮設住宅といつてもベニヤ板みたいなものにマットを敷いたようなくらいにしか作っていないのです。それで仮設住宅に畳表を倉敷市から御提供いただいた分を私自身が持って行きまして、大船渡市長に手渡そうと思ひまして、車に積み込みまして持って参りました。

実は大船渡の市長さん、私が今回行った時に思つたことございまして、東北の皆さんは非常に耐えることに非常に力強い方ばかりでございます。それで何かいるものは無いのですかと、こちらから何回も聞いたのです。そうしましたら勿論聞かれなくても食料とかずっと持って行ったりしてたんですけれども、段々時期が過ぎるに従ひましてやっぱり畳表だったりもしくは、生活物資などがあるんじゃないかということで何かいらぬですか持って来ましようかとずっと言つてございましてけれども、市役所から返ってくる返事はもう何とか皆さんに助けていただいてやとりますと、これまでこれだけ助けていただいているのにこれ以上していただいたら申し訳ないから、もうなんとかやとりますと。そればかり返ってくるんです。でもテレビなんかで見ましても非常に困つてるし、うちの職員が行つておりますものから聞いても色々な物資も足りないということで、色々考えましてとにかく私が行く時に畳表を持っていこうということで、それを車に積んで持って行って大船渡市長さんにお渡しをしました。そうしましたら市長さんが言われたことには、いやあ実は困つておつたんですと言われました。なぜならば畳は勿論無い、それからちょうど仮設住宅が出来て自分たちも日頃やっぱり畳の生活が多いということでございまして、少し畳でもあつたら気持ちも普段に戻つたように安らぐようなこともあつて、なかなか無いんですけどもそんなもう大変一杯いただいているのに、そんなことではもう申し訳ないと言われておつたんですけれども、ものすごく喜ばれたんですよ。それで、やっぱりあまり聞かずにこちらから支援をどんどんせんといかんと、ますます実は思ひました。でその時に初めて大船渡の市長さんや市の職員さんが、本当に助かると。これから段々仮設住宅が出来ていきますと言われます。畳が欲しいとは言われぬんですよ。だからもう、うちから何とかもうちょっと、県内にはい草の生産組合さんがありますので、そちらの方にもお願

いしてみますからと言いましたら、いやあ、もう有難うございますと言われまして本当になんと言うか非常にあまり頼まれられないような本当に申し訳ないみたいな感じで皆さん思っ  
ていらっしゃるのでどんどんこっちから色々しないといけないなと思いました。さっき申  
し上げたボランティアのバスのことですけれど、ボランティアを倉敷市から向こうに派遣  
をする仕組みを作るということなんです、これも少し同じ事でございますボランティア  
の皆さんがゴールデンウィークに全国からたくさん来られました。その時初めて地域の  
皆さんは自分の家の中を片付けるのを他の全然知らない人に頼んでもいいんだと判ったと  
言いますか、頼んでみようかという気持ちになったそうなんです。ところが連休が終わり  
ましたら、もちろん皆さんも仕事があってガバツと減ってしまったと。そうすると結構地  
元の皆さんはやっぱり頼んだら悪かったのかなあというような感じで言われておるみたい  
で、そういうことを聞きましたので遠くでもこちらから少しでも常時向こうにお手伝い  
に行ける様な仕組みを作りたいということでボランティアの拠点を設けております。今それ  
こそ川崎大学とか芸科大さんとか学生さんも非常に協力をしていただいております学校  
の合間とかもしくは授業の一環というのも変ですが、それでも行ってみようかという話を  
してくださっております。今、申し上げましたお話は、当月号の広報くらしきの方に巻頭  
から5ページくらいに載っております栗坂さんの畳表もこちらに載っております。有難  
うございます。本当に。市民の皆さんから倉敷市は色々市長の話を知ると色々やっとな  
りみたいなんだけど、よく解らんと結構言われているもんです、6月号にずいぶんペー  
ジを割きまして今やっていることを書いております。最初に地図をつけたのですが、11  
の市と2つの町に対しまして支援をしております。さっき申し上げた内容以外も郡山市や  
いわき市とかそれから石巻市や気仙沼、大槌町などなど、色々行っております、頼まれ  
たらどうか伝が付いたら何処でもとにかく支援をしていこうという姿勢で行っており  
まして、増えてしまいましたがこんな感じで今やっております。今後とも、一生懸命支  
援をしていきたいと思っているわけですが、こんな中で私が思いましたのが、われわれ  
倉敷市の防災の見直しと申しますか、防災についてもっとしっかり、やっついていか  
ないといかんと思ったわけでございます。

これは御家庭に配布しております我が家の防災マニュアルでございます。この青い色  
の洪水ハザードマップというのが載っている中から地図を拡大して持ってきておりま  
す。この洪水のハザードマップ、こちらが高梁川でここが足守川になっているんです  
けれども、倉敷市、これはどういう想定かといいますと、今、東南海、南海地震のこ  
とが今回の東日本の災害でよく言われております。東南海、南海が起こったら、も  
しくは東海地震が併発して起こったらどうなるだろうかということでございませ  
けれども、今現在倉敷市が作っております想定は、東南海と南海つまり名古屋の  
あたり、高知のあたりとの地震が2ついつぺんに起こりましたら、倉敷市内は  
どうなるかというのを地図の中に作っています。それで勿論水島とか沿岸部は  
もっと浸水する所が多いわけですが、倉敷市でも東南海、南海、今回の東日本  
の分がマグニチュード9だったんですけれども、今の倉敷市の数字ではマグニ  
チュード8.6という分で東南海、南海が起こったら大体震度6位、まあ5~6  
位が来るんじゃないかというふうにいわれております。揺れて、もしも、高梁川  
の一部であるとか、堤防が壊れたりとかした場合には、水がどういふふうに入  
ってくるかというのをのせた地図でございます。ここが庄の中学校、小学校です。  
ここが高梁川でかなり広域に作っているんですけれど、倉敷駅がこのあたり  
ですので、もし本当に全部切れましたら、

倉敷市内の多くの場所が何かしらの浸水をするという地図ではあります。ただ普通はこういうふうにはなりません。児島や玉島で、説明をいたしますと本当に非常に深刻な事態もあるわけですが、これは洪水それからの豪雨が起った場合等にも検討が必要だと思いますし、今、東南海、南海それにプラスして東海が加わった場合に、もっと揺れた場合に、どうなるかということをもう一回、計算をし直しております。特に水島の地域においては、かなり浸水域が出るのではないかと思います、大体この庄の地区におきましては、多くても1～2メートル位の浸水。ものすごく切れた場合です。普通はそうはなりませんので、御安心いただきたいと思ひますし、もしも津波が起こって、例えば津波がこちら側の児島とか玉島に到達するまでには、実は今回みたいにすぐ来るわけじゃなくて2時間半位してから、来ることになります。非常に淡路島のおかげというのも変ですけど淡路島がありますので、その東南海、南海の津波が倉敷市に押し寄せて来るには2時間半もしくは東海地震も併発したらもっと短くなるかも知れませんが、そんなにすぐに来るわけではありません。この街中にとりましては高梁川の強固な堤防を何とかしないといけないと一番思っております。これは国もよく解っておりますので、ここが切れたら倉敷市内が全部浸かると解っていただいておりますので、ここは一生懸命やっております。

ただ今後の色んな防災のこともありまして、この川崎大学と実はこの3月に新たに防災の協定を結びました。これまでは主に小学校とか、中学校とか公民館とかが地域の避難場所でございますけれど、何かあった時に非常に広大な避難場所が必要だということで、その為には市内の大学とグラウンドを是非、借りたいということで川崎学園さんと相談して川大の医療福祉大学の大きなグラウンドがございますが、そこと体育館を貸していただけることになっております。特にこちらの近くの地区では川大さんは西日本でも屈指の緊急医療の場所でございますのでドクターヘリも来ますし、何かあったら自衛隊のヘリも飛んでくると思ひますので、倉敷市内でも比較的緊急の対応が、しやすい場所ではないかと私思っておりますが、更に防災の準備が必要ではないかと思っております。

水島とか児島とか玉島については避難場所自体をかなり見直していこうと思っております。水島は町の中には山があんまりないんですけど、今のところ亀島山は避難場所になっているのですが、地震が起こったら、周りは全部浸水することになってまして亀島山までもし逃げましたら孤立してしまいますので、そうならないように2時間ぐらいあるわけですので皆、こちらの芸科大の山とか、こっちの古城池の山に逃げてもらおうようにとかを見直しをしたいなと思っております。

今のところ、大体安全だと思っておりますが、それぞれの御家庭での見直し、それから倉敷市が防災計画の見直しを発表いたしますので、よく関心を持っていただければと思っております。

それから最近のことで、この5月の17日に、当庄地区の大きな生産物でありますマスクットを売込みに大阪中央卸売市場に行つて参りました。5月17日の火曜日の朝が毎年初売りになっておりまして、朝5時に市場に行きまして、それで市場の親方の皆さんに、是非倉敷市のマスクット、庄のマスクットそれから船穂のマスクットについて、特段にしっかり売ってほしいをお願いをして参りまして、去年と同じか、少し良いくらいの値段をつけていただきまして、今年もよく売っていただけるのではないかと思っております。

当庄地区は様々な特色がございます。地域のつながりも非常に強く、農業、それから非常に古くからの遺跡もございまして、その主としてはこの庄の地区につきまして、引き

続き皆さんと一緒にまたその核施設の川崎大学もごございますので皆さんと協力して街づくりに努めていきたいと思っております。

あともうちょっとだけ、市全体のことについてお話を申し上げたいと思います。私が就任して3年ほど経ちました。その中で特に子育てに力を入れていこうということで、子供さんのお母さんが妊娠をされましてから、出産、幼稚園や保育園に行かれて小学校、中学校に行かれて大きくなっていかれるそれぞれの過程において、お母さんのサポートであるとか、小学校での特に低学年については担任の先生をもう一人余分につけたりということ子どもさんについてしっかり取り組みをしようと考えてまいりました。

あともう一つは、われわれ倉敷市とこの地区は非常に岡山市さんも近くでございましてお話を申し上げようと思っているのは、特に岡山市と倉敷市の中で違うのは環境に関する取り組みのことだと思います。御存知の方は多いと思いますが岡山市さんはゴミが有料になっておりまして、私どもが今、何とか皆さんの御協力のおかげで無料でいっております。それから子供さんの医療費につきましても、うちは小学校6年生までは、今年から何とか全部市で負担をしてできることになったんですが、岡山市さんは通院の分については幼稚園までとなっておりますので私どもが聞いておりますのでは、特に川大さんに来られるお母さんたちが、結構その子供の医療費のこと、それから地域の環境に対する取り組みのことについて倉敷市は結構進んでいるなあということを書いて頂いているのでございますが、まだまだ改良をしていかないといけないところが多いと思っております。

それから大きくはこの倉敷駅の所に今年の秋に大きな施設が出来ます。イオンに加えまして、今回のイトーヨーカドーさんと三井のアウトレットが出来ること、今渋滞が少しでも緩和できるために駅の東にあります踏切の幅を広げる工事、それから踏切から旧2号に天満屋さんの後ろの所でクネッと行くようになっているのが、そこが真っ直ぐに旧2号に来られるように、というのを急ピッチで地域の皆さんの御協力をいただいてやっております。何とか開店までには間に合うようにと、がんばっていききたいと思っております。

それから駅の北の所は商業施設ばかりではなくて、倉敷市の公園を一部設けることにしております。緑道と合わせて約2ヘクタールの倉敷市の緑地緑道公園を設けることになりました。クラブウさんから土地を譲ってもらった金額を含めまして、全体の金額は約16億円かかりましたけれども、その内倉敷市の自腹は、何とか国の補助金とかを持ってきて約2億円で出来る予定となっております。約2ヘクタールの公園、緑道を2億円内でいけるのではないかということで今整備を進めております。それも秋までには出来る予定となっておりますので宜しくお願いしたいと思います。

とりあえずこの位でと思っておりますが、防災のことに当面大きな力を入れないといけないと思っておりますし、それから農業のこと、さっきマスカットのことだけ申し上げましたけれども農業振興のこと、地域の皆様から色々な道路のことや水路のことなどもお伺いしておりますので、そのような点なども含めまして、一生懸命取り組みをしていきたいと思っております。それでは皆様方から、何か御質問とか御意見がありましたらお願いをしたいと思います。それで宜しくお願いいたします。

《参加者Aさん》

市の担当者に直接聞こうとは思いますが、さっき市長も言われてました、ボランティアの無料バス。これ一応8月末までくらいになっとるんですかね。

《市長》

夏ぐらいまでですねえ

《参加者Aさん》

それでこれ20人から30人位の宿泊可で、おそらくテントか体育館か公民館か

《市長》

公民館の畳の部屋です。

《参加者Aさん》

それで大体一人が行った場合は、町内会では行ってもいいんですけど何組何泊とか、規制があるんですか。

《市長》

特に無いんですけど、こちらからバスが出て、向こうに行きまして、こちらに帰ってくるまでに全体で大体1週間くらいです。1日目出発して2日目に着いてそこから2日目は遠野で活動してもらい3, 4, 5と大船渡、陸前高田とかで活動していただいて、6日目に出発して7日目の朝帰って。

《参加者Aさん》

1週間の予定で。くさっき市長言われましたけれどもゴールデンウィーク以降少ないわけでしょう。

《市長》

そうなんです。

《参加者Aさん》

それは我々市民が行くとして、申し込みとかそういう要するに先着順とかね、色々あると思うし、それから手伝いに行くといっても何をしたらいいのかというようなこともあるでしょう。かえって行くだけで邪魔になったら何にもならんで今日もここに来る時ラジオでね、大学生の話を書きましたけど、行きたいんだけど行って邪魔になったらいかんと。自分としては女の人でしたけど子供さんとね、一緒に遊んであげるとかね、そういうことを言っていましたけれど、我々一般市民が行って何をさせてもらえば出来るんですかねえ。例えばガレキを片付けるとか。教えてください。

《市長》

解りました。遠野市に我々のバスを出しております。遠野から先の大船渡、陸前高田の沿岸部で活動しますのは、遠野市役所で毎日沿岸部の色んなボランティアしてもらいたいという需要を聞いております。それで遠野からバスを何方向かに出してくれまして、それに乗って自分の希望も言って、自分は家の中の片づけの手伝いをしたいとか、もしくは自

分は避難所に行って、避難者の方の話し相手をしたいとか、いくつか希望がありますので、この遠野の所で、1日目に出発して2日目に着きましたら2日目に遠野でそういうのを申し込みをしてもらって、3日目に自分のなるべく希望の所に行くと そんな感じです。

《参加者Aさん》

市の職員さんがそこに駐在されとるということですね。20人、30人位。

《市長》

遠野にはボランティア拠点がありまして、よくテレビで最近出るんですが遠野まごころネットと言います。全国からボランティアの幹部の方が来て作ったのが在ります。そこは遠野の社会福祉協議会がやっておりますちゃんとした所ですので、その社会福祉協議会の建物の中にあります。社会福祉協議会の皆さんが常駐しておられます。

《参加者Aさん》

おそらく、今梅雨に入りましたので梅雨が明けたら皆さんどっと思うんですよ。学生も行くと思うんですよね。だからいっぺんに集中してもね、かえってそれを捌く人も大変だと思うんで、なるべく人が行かない時に行けば、行って役に立つんじゃないかと思って、その段取りは市の職員の方に聞けば解るようになっているのですか。

《市長》

そうです。倉敷市の社会福祉協議会、ボランティアセンターがございます。

もしよかったら、ご紹介いただければと思います。健康な元気な方を募集しております。怪我しないようにとにかく気をつけて参加していただければ。

《参加者Bさん》

失礼します。私は下庄地区の土木委員を4月1日に拝命いたしました。私は下庄地区の河川改修と道路について市長さんの御意見を賜りたいと思います。御存知のように下庄地区は、水路幅が非常に広く水路沿いに道路がございません。これは庄地区が昔から農作物の運搬に船を使用していた名残があると思われま。そういうことで下庄地区の河川改修は非常に遅れておるといのが現状なのでございます。前任者が、9年間かけて役所の方へお願いを申し上げておったようでございますけれど、何時になっても回答がないということで、私が4月1日にお引き受けをいたしまして、一応下庄地区の周りを見て回ったり庄地区を見て回る時に、下庄地区が格段に遅れているんです。現状を見ていただければ解ると思いますが。私も4月1日に役所の方と矢野先生に両方をお願いを申し上げながら、また地域の皆さんの書面を持ってお願いを申し上げた現状でございます。そうしたら昨日から今日にかけて市役所からと矢野先生から我々下庄地区の要望を全部全うすれば、7年くらいはかかるであろうという御説明をいただいた訳なんです。もう下庄地区としては、とても7年も5年も待てないと。1日も早く下庄の水路と道路の改修をお願いしたいと。そして下庄地区が9部落ある中でもう一番悪いんだから1日も早く皆さんの現状の姿に末席でよろしいからしていただきたいのが現状でございます。宜しく御配慮をお願い申し上げます。

《市長》

はい。どうもありがとうございました。先般頂きました要望書を拝見いたしております。それから要望書も頂いておりますので現地に、うちの職員さんにも行ってもらいまして写真撮ってきてもらって今拝見しております。今言われましたように非常に水路の幅が広いんですね。他の地区と比べて広いということもあって結構、なかなかやりにくいので、ちょっと時間もかかっているのではないかとは思いますが、いっぺんにはバツとやるのが難しいと思うんですけども、要望書を頂きまして現地へ職員が見に行きまして、これまであまり進んでなかったというのが、現状だと認識をしましたので、何とかこれからは、バツと全部とは難しいかもしれないんですが、順番に進むようにやっていきたいと思っております。ただ下庄地区だけじゃなくて、市内の玉島とか、児島も含めまして、遅れている所が何ヶ所かありますので、市全体として遅れている所を、もうちょっとスピードアップできるようなつもりで、やりたいと思っております。何年で全部出来るとは今申し上げられないんですけど、順番に今までよりはちゃんと進むようにと思っております。で、写真を見まして、私が非常に思いましたのは、木の板を結構ずっと打っていただいたりとか、やっぱり幅が特に広いということがありまして、歩道をつけるのは、それぞれ出来る所と出来ない所があると思うんですけど、まず、木の板の分の水路の壁になっている所が、今後の洪水とかを見ますと、心配な所があるかと思っておりますので、そういう所をよく拝見して、何とか前に進むようにしたいと思っておりますので、また今後とも御相談に土木員さんにとって頂きたいなと思っております。有難うございました。

《参加者Bさん》

有難うございました。何分にも僕が出るのは初めてなので解りませんので、ひとつ早い便にお願いを申し上げたいのが現状でございます。失礼しました。

《参加者Cさん》

山地の〇〇です。孫が〇人おり今、中学校から保育園までお世話になっております。

特に私が言いたいのは、通学路が非常に貧弱で子供の安全が心配な感じでよく全国で児童の列に車が突っ込んだというニュースをテレビなんかで見ますと非常に山地は狭くて、歩道がついてないんで、危険な思いをしながら孫を送り出しているような状態で考えていただけたらと思います。小学校の先生方やPTAの方にもお願いすることだと思いますけど、現状を見ていただいて、車も20キロ制限と書いてんですけど、朝皆さん急がれておりまして非常に危険な状態が続いているんで考えていただけたらと思います。

《市長》

特に山地の地区だけではないとは思いますが、もともとの地域の構成で非常に道路の狭い所が、多くありますので本当は道路をそれぞれ、御協力をお願いをして、広く出来ればと思うんですけど、今ご指摘いただいた点、もしまた解れば、特にこの辺りがと後で教えていただければとも思います。まず当面は、その地域の学校の先生ともよく相談をしまして、子供が危なくないようとか、スピードを出しにくいような、道の段差みたいなものがありますよねえ、そういうことを付ける様なものも検討をする必要があるかなと思

てるんですが、いろんな面で土地の制約上のこともあると思いますけれど、おっしゃるように特に子供さんの安全のことは、今テレビとかでも色々言われており、重要だと思しますのでしっかりやっていきたいと思えます。御提言有難うございます。

《参加者 D さん》

山地の〇〇といいます。ふれあいサロンについて市長さんにお尋ねします。現在倉敷市には、この3月現在で115単位があるそうで庄地区も山地、日畑、二子、上東、松島の5つが今あります。山地も19年からサロンを開設し今年5年目になってこの間、高齢福祉へ23年度の申請書を持って行って、4月の8日に出して5月の13日に高齢福祉課の方から電話がありまして、書類に不備があるということで、私、過去4年したんだけど、同じようなことして何かなあと行って行ったら、老人会の老人クラブの名簿にある人がサロンの中にほとんどおると。老人クラブは補助金です。サロンは委託料です。その2重取りなので、どちらかを消して欲しいと言われて、私も老人会の会長さんの所へこうこう言われていけないので、サロンは3万円ですけど、貰おうとすれば何人か抹消して欲しいと、老人クラブの規約にもあるように名前だけ搭載して中にはうちの女房の母も施設に入っています。そういう人も名前があります。老人会の総会、色んな事には全然出られない人も名簿にずっと、死ぬまであります。そういう人もサロンの要綱にあるように、概ね60歳以上の一人暮らしの高齢者ならびに高齢者夫婦のみの世帯、これに準ずる世帯の高齢者、加齢、心身の障害、傷病等の理由によって日頃から外出することが少ない閉じ籠りがちな高齢者を対象に。市長さんは先ほど子育てには手厚くされるんですけど、私たちのように老人会に入って私も地元の老人会のお世話になって、片方を落としてサロンの方を貰うために、そういうことは出来ないんでこの間24日に取り下げて返してくださいということで、そのうちに書類は帰ってくると思うんです。庄地区はほんとに老人クラブが活発なんです。その中でも山地は5つ単位があります。会長が熱心だから、ほとんど入ってます。それを片方を落として、そういうことされるんでは、一応腑にいかないと言ってサロンの会長にも言うたんで、とりあえず、貰うなという事にしたんですけど。どうもあれから、むかむかしよるんです。だって、老人会に名前があるだけで本当に手押し車で山地の公民館まで、喜んで月に1回来てるんです。市長さんも一回来られたと思う。担当者には是非、そのお年寄りが喜んでる1、2時間を見て欲しい。

これは老人会の方も規約をいろいろといけんと思えます。その辺を会長に言うたら、やはり敬老の日に米寿とかそういうことで、入っとる人には記念品をあげるんで、ワシからサロンへもらう為にあんた除外してくれとかは言えないと言うから、私もいずれそういうふうになるかも解らるので、サロンはとりあえず今回は取り下げますということで取り下げました。その辺の所をそういうふうに厳しいなら老人会に加入している人はいけないとか、何か一項、中に加えて欲しいです。毎年同じ書類をつくって、なぜ今年だけがだめなのか、どうぞ宜しくお願いします。

《市長》

はい。むかむかこられるのも解ります。同じ書類を出して、急にいかんと言われると、確かにに困りますよね。なぜ変わったのかというのもちょっと聞いてみたいと思えます。

《参加者 E さん》

そのことについて色々、相談を受けたので私も確かめに行ったんです。高齢福祉に。そしたら、この度はすみませんと言うことで。私もふれあいのことで会ったことがあって色々詳しいことも聞いたんですけど、その向かいの子育て支援で子どもさんに倉敷市が子育てサロンをしろしろと言うもんだから、私たちも忙しいんですけど、去年子育てサロンを始めました。庄のひなぎくサロンと名前をつけて6月から実施してるんですけど、何分これは補助金です。年間補助金が2万円です。ふれあいの委託料は年間3万円。この2万円で去年10回やりました。年間10回以上と言うことで、やっぱり負担金が2万だとお母さん方の補助があるので、一応3歳未満の親子という事で庄のコミュニティハウスをお借りして、一応ボランティアも市の出前講座とか色んなものを利用して無料でやってるんですけど、折り紙をひとつ買うにしても、うさぎ屋で買ったらやっぱり4、5000円いるんです。百均で買っても結局枚数が要るもんですから、だから領収書、補助金を使わせてもらう場合は、もうその為に子育てサロンをするために折り紙を買いに行くんです。うさぎ屋まで。その時にちょっと、他の物に補助金の申請というのが、それが今年初めて決算をして判りました。今度からは決算は判りやすくするんですけども、その年間2万円、10回以上、1回が2000円です。これでは、やっぱりちょっと、金額が少なすぎるので、あれだけ子育てサロンを始めよう始めよう言われるのに、医療の無料化、それもあるんですが、もう少し補助金を増やして欲しいなあと思います。

それで民生委員、児童委員として一応3歳未満の親子、庄地区で一応立ち上げてやってるんですけど、今年6月から、ふれあいに行って始めます。同じように高齢者のふれあいサロンと同じように3歳未満の親子で子育てサロンを始めてるんですけど、ちょっと補助金が少ないかなあ。これは委託金じゃなくて補助金ですけども、その辺を少し、御検討もらえたらたらしと思います。

《市長》

子育てサロンのお話を、今2万円という事で伺って、私も実際にいくら補助金を出しているかまでは伺ってなかったんですけど、よく実態を、ひなぎくサロンとか各地区でやって頂いていると思いますが、どういう所を補助したらいいのか。今言われましたように折り紙とかが要ると、物品で提供したらいいんだろうとか、補助金を取って領収書を集められるのも結構大変だとも伺っておりますので、やっていただいた状況なんかもよく伺って、何か改善できないか、検討してみたいと思います。

ちょっと話が横にそれるんですが、地区の憩いの家がございます。私が市長になりました、去年22年度から作ったものについて、憩いの家で、地域の年配の皆さんと子供さんと一緒に、子供さんの子育て広場と言うか、初めて作ったんです。結構地域の皆さんとか、若いお母さんたちから、自分の親も働いていたりとかで会う機会もないし、子育て方法も教えてもらうのもなかなか難しいので、その地域で若い人だけで集まるのもいいんですけど、年配の経験者の皆さんにも教えてもらえるような場所も一緒に出来たらと言うアイデアから始まりましたので、子育てと皆様方と一緒に出来ると言うような輪作りというのもやっていきたいと思っています。

《参加者Fさん》

私の方から3点、大きな話ばかりで申し訳ないんですけど、1つは、防災に強い町づくりということで、前々回どこかの会場でスマートタウンという話を申し上げたことがあったと思うんですけど、昨日か一昨日、報道で神奈川県藤沢市がパナソニックさんの全面的なバックアップをもとにスマートタウンを作ると言う構想が発表されましたよねえ。それは御承知ですか。実際にそういうのが動き出しているということです。ここの倉敷がどう意図するかも判らないんですけど、地元には三菱さんという大きな、元は自動車メーカーですけどあそこもこれから電気にシフトしていきますし、各種電力・電気関係の業界もいわゆる再生可能エネルギーという事で、風力、火力、太陽光等々を連動させた形のもので、今実証実験から実用段階に入りつつあるということです。話が長くなるんですけど環境人類学者の竹村真一さん。御存知でしょうか。J-WAVEというFMフラッシュさんの番組でいつも夜9時40分くらいから10分程度色んな話をしています。その方が言われているに今までの火力とか原子力というのが重要視されてて、こういう再生可能エネルギーが野球で言えば8番バッター的な存在だったと、力的にも存在的にも。けど今は実力的に全部のエネルギーの供給量の50%は賄えるということで、イチロー的な存在になっていると。すでにヨーロッパ各国ではそういう取り組みがどんどんなされていると。イチローのことについては走、守、攻の3つの柱を上げて、具体的な話がありましたけれども、今ちょっと省きますけれどもそういう形で、

《市長》

スマートタウンへの取り組みという事ですね。

《参加者Fさん》

はい。2つ目は防災訓練です。小学校単位で住民の防災訓練をやって頂きたいということです。高齢者、障害者等々、在宅の方もたくさんいらっしゃるので、そういう方を含めた自分たちの命は自分たちで守るということから小学校単位で防災訓練を是非やっていただきたい。3つ目は小学校における英語活動の取り組み。これは文科省の方で必修化になりました。指導者を倉敷市としてはどうしているのか、どうするのか、外国人講師を雇うのか、現職の教員で全部やってもらうのか、市が雇うのか、民間に委託するのかというあたり。

《市長》

一つ目のスマートタウンは、解説をさせていただきますと、太陽光発電で電気を取りまして、それを家で使っているわけですけど、それを家から今度はコンセントで電気自動車につなげて、家で全部車のエンジンの電気もできたり、もしくは電気自動車の充電池と言うのは、貯めておく機能もありますので、作るばかりで中電に売るばかりじゃなくて、貯めておいて今度は使わない夜に、光が無いときには家に、車から電気が供給されると。そういうようなものです。もちろん倉敷市はまだ、そこまでは進んでないわけですけども、今のところ市では、太陽光発電の推進をなるべく図っていこうということで、ここ2、3年一生懸命やっております。以前は大体1年間に百数十件くらいの市からの補助件数だったんですが、今大体1年間に、1000件くらいの補助という事で、割とすぐ、いっぱいになりますので、皆さんに使っていただいていると思うんですが、ちなみにお伺いした

いのですが、今日いっちゃっている中で太陽光発電を入れていっちゃう方、どのくらいいっちゃうのでしょうか。有難うございます。数%くらいでございました。有難うございます。比較的どちらかと言うと昔からのお家よりも、最近のお家に付けられたですかねえ。なるほど。結構、市の今の補助は、割と新しく家を造られる時に構造上の観点から、既存のお家に付けられるのもなかなか難しいところもあります。新しく付けるところに補助の申請をされるのが結構多いんですけど、倉敷市も太陽光発電にずいぶん力を入れておりますし、ますますやっていきたいと思っております。行く行くは今入野さん言われたようにスマートタウンとって、家と自分の電気とかは自分で供給できるというものになっていけばと思います。

それから防災訓練につきましては各地区で定期的に行っていただいておりますが、最初に御説明したんですが、倉敷市の防災計画も今回の地震を機に見直しをしたいと思いますので、その際にこの地区で言えば川大さんはもともと避難場所に入っておりませんが、今後は入るようになると思いますので、そういうことなどを決めましたら、またお知らせをしていきたいと思っております。

それから小学校における英語教育ですけれども今のところ、倉敷市ではNETといえます外国の英語をしゃべれる方を市で雇いまして、学校の方で担任の先生と併せて授業をするというのをやっております。今のところその方向でやっていこうと思っておりますが、必修になって少し状況が変わるかもしれません。あまり委託を、結構、市によってはガバッと委託を出しているところもありますが、それも良い面と悪い面があると聞いておりますので、もし違う方向になるときはよく検討してから進みたいなどは思っております。

#### 《参加者Gさん》

スポーツを通じて地域の活性化を。それから防災計画。それから倉敷市の知名度の向上、それと福祉と安全、倉敷市の周辺の活性化。スポーツを通じて倉敷市にはマスカット球場があります。あのような施設があつて阪神タイガースがきて超満員になるような状況だった。それで年に何回も公式試合をやった。それが今はもうなくなりました。これは原因がはっきりしとんです。そしてキャンプもなくなりました。これははっきりしとんです。これは観客のマナーが悪いからです。本当です。これは本当にあったこと。話が長くなりますが、試合終了後にね、フェンスの柵を越えて観客がなだれ込んだり、選手がホテルに帰るときにバスを囲んだり、という事が有りまして。星野監督がもう来れんと。ほんとのことです。代表者の社長やオーナーが、すぐのそばで聞いた人が私にこりゃあ、ここへは来れんのおということで来年からなくなった。あれだけの集客力があつて活性化になるのに活かさにゃあいけんと。これは倉敷市と県の問題。そういう原因があつた。

それから防災計画。いろいろ言われましたが。想定外のことが起きたけれどそれをやってなかった。日本の学者いうのは私がある文科系の学者からつい最近聞いた話、マグネチュード8くらいの計画で全部立てたらしいです。それ以上9じゃったら、どうするんなどということ、そんなことはないという人もおったし、文科系の有名な学者の話を聞いても、ああそうかいという事もあつた。それをやったら何十兆円という金があるんじゃないかと。全部海岸に防波堤を立てるとかいうことになった。所謂何が起こるかかわらん。今防災計画の話が出ましたけど、それから倉敷市の知名度について、以前30年ほど前に東京で研修を受けたときに、集まって話をしてもねえ、倉敷いうたらどこにあるんならということをも

日本の人が言われてました。水島コンビナートは知ってる、大原美術館は知ってる、倉工は知ってる。倉敷工業あるところだと。倉敷がもっと知ってもらえるようによろしくお願いします。

《市長》

マスカット球場の野球が少ないというお話がありました。もしかしたらマナーが悪いと言うところもあるのかもしれないですけど、今、知事と一緒にしまして、一生懸命誘致しております。勿論、星野監督にいつも会う度をお願いをしております。星野監督は楽天のキャンプであれば、自分が持つてくることも出来るんで、なるべくこっちに思っておると言っておきたくております。東日本の震災が起こるまでは、私は秋のキャンプはマスカットで確実だろうと思ってたんですけど、どうも災害の後に様子を聞いておりましたら、わからないような感じになってきているように思います。と言うのが、楽天が、東北から遠くへあまり出てもらいたくないという気が、仙台をはじめ宮城の皆さんがあるということを知りたくて、今回うちに来ないかもしれないという可能性もあると思っております。ただキャンプだけでなく試合についてもこちらのなるべくもっと来てもらえるように知事と協力して、楽天だけじゃあなくて誘致をしっかりしていきたいと思っております。せっかく、これだけ良い球場が有りますのでがんばりたいと思っております。ちなみにさっき申しました大阪の中央卸売市場で、挨拶の中でうちはマスカットを作っておりますが、作っておるところには、マスカット野球場まであるんだと言いましたら、中央卸売市場の皆さんがびっくりしておられましたので、もっとしっかりやってやらないといけないと思えました。それで知名度のことでございますが、私が受けている感じでは、少なくとも岡山市よりは、うちの方が有名な様に思います。私が東京あたりで聞くのは、岡山県があるのは勿論知っているけれども、岡山市があることはあんまり知らなかったという方は結構いらっしゃいますね。倉敷市があるというのは、よう知ると言っておきますので、ただ今言われたように、倉敷市と美観地区と言うのは結びついておりますが、マスカット、葡萄ができるとか、瀬戸大橋があるとか、もしくは桃がとれるとか、そういうのがなかなかまだ結びついていないように思いますので、そういうところをもっと、市としてはしっかりPRをしないとイケないなあという感じは持っておりますので、今後ともがんばりたいと思っております。有難うございます。

《参加者Hさん》

高校生と小学生の子供がいるんですが子育てにも今日本中でも応援していただいて、本当に育てやすい環境にはしていただいていると思うんですが、今日も参観日なので小学校に行ってきたんですが、40人学級、あまりにも人数が多くて、学年、地域性にもよると思うんですけども、特に庄は意外と子沢山な地区だと思います。今5年生なんですけど、4クラスあるんですけど、全員お母さん入れません。ここに最後尾の子供がおりまして、一人入ったら入れません。40人の保護者が入ろうと思ったら、とても狭くて見てあげてくださいと言われても、廊下に出ないと見られない。冬寒いですし、夏暑いですし、お母さんがせっかく来て入って上げられない、見てあげられない、もう行くのをやめようかという方もいらっしゃるくらい。この人数で先生果たして本当に教えられるのかという疑問がいつも有って、上の子の時は人数が少ない学年だったので、本当にゆったりしてて、やっぱり勉強も解り易かったのか、学年のテストをしても高いと言われてて、クラス40

人本当にきついで、あと二人か三人転校して来れば、もう一クラス増えるのに。その二人か三人どうにかならぬのって言うのもあるし、何とかその一クラス分くらい何とか。学年によって何とかならぬんですかというのもありますし、あとこの間、市子連という大会に参加させていただいて総会があったんですけど、よくされた方の表彰と、こんなことがありましたというだけで、あれっていう、私たち、ただ表彰を見に来ただけ、ああこんな会があったって聞きに来ただけ、何のための総会なの、この子ども会の総会と言うのがありまして、3人くらいが地区から学区じゃないです、地区から、例えば山地から3人、上東から3人というような形で子ども会単位で3人は出てくださいと言われてんですけども、あまり何か表彰される人だと言われて、あと何か話し合いに出て為になったことある。無いよねって言うような、どうせそんなに集まるんであれば、私たちが知りたいのは、例えばなんですけれども単位の子ども会等で、一体何をされているんだろう。あ、こんな活動があるんだね、クリスマス会、こんなことをされている。全くそういう情報がなくて、子ども会が広がらないと言う理由に、何をすればいいの。わかりますよ。クリスマス会、歓迎会、あの6年生を送る会、サマープランを練ってという大体の季節毎の遊びは判るんですけども、じゃあその中で皆さんどういった活動をされているんだろうというそういうことを聞きたいのにそういう分科会がないんです。だからせつかく集めるんであれば、表彰したあとでちょっと分かれて分科会をするなり、何か子供会さん単位で何をされている、こんな活動、じゃあクリスマス会があるこんなんで呼んだんよとか、そういう個々の単位の子ども会の話が聞きたいのに、何にもそういうのがなくて、向こうから淡々と、はい、有難うございました。え〜。疲れただけという何の意味の無い総会が結構多いんで、中身をもうちょっと毎年マンネリで、参加したけれども何の意味が無いっていつも言われるんです。いろんな会に出るんですけど倉敷市は分科会っていうのがないからつまらない。そんな総会開くよりも、繋がり何か会の中身を知りたい。そういうのを教えていただきたいです。

#### 《市長》

まずクラスの一クラスの人数のことですけれど、岡山県の一クラスの人数と言うのは、決まっておりますそれによって、先生の配置、配属をするということになっています。今年は、1年生の学級から35人にやっとなも変えまして、今のももとの予定は1年毎にあがっていく予定にはなっているんです。来年には2年、その次は3年ということになっているんですけども、それが進めば40人よりは環境がよくなるとは思いますが、今のところでは、なかなか市単独で全部30人にしようというのはまだまだ難しい状況なんですけど、庄の小学校が狭いと言うことなんですけど、すぐに改定というものもなかなか難しいと思うんですけど、そういう御意見を頂いていると言うのは他のお母さんたちからもいっぱい頂いておりますので、県にもっとしつかり、なるべく早くと言いたいと思います。

それから子ども会のことですけれど、子ども会の総会とか改革について、色々御意見もあるということも少しは聞いております。せつかくなんで今言われたように他の子ども会でどういう活動をしているのかということは、判ったらいいんじゃないかというお話もあると聞いておりますので、子ども会は一応市ではないんですけども、またそういう御意見もあったということも子ども会の市の担当にも言ってみて、他のお母さんたちの意見とかもよく聞いて子ども会によりよくなるために提言していきたいと思っております。

《参加者 I さん》

学校のことと通学路のことなんですけど、去年入学式で非常に暴れとるということで、その年の秋に学校の先生と保護者が集まって懇談会があったんですけど、学校の先生も中学校が悪いのはよくわかるとるということで対処するということを言われとるんですけど、だいぶ時間がかかるなと思とるんですけど、市長さんにこの場でお願いすればと思いました。具体的に言いますと、1年生のときにクラスの中で同級生がタバコを吸っていたと。休憩時間です。先生が来られて娘がタバコを吸っているので注意してくださいと言ったら先生が来て臭わんなと言っただけで済ませたらいい。そういうことも、懇談会の時には言ったんですけど、その後どうなっているのか、もし懇談会があったら聞いてみにゃいけんと思っています。もう一つ通学路の件ですけど、特に備中庄のところからずっと市道になってますけど、流通の方からずっと来てバラ園の前を通らずに備中庄から学校の横を通って、それから総社方向に抜ける大型車が非常に多いんです。それは皆さん感じておられると思うんですけど、むちゃくちゃ多いと思います。調べてもらえればと思うんですけど。以前、うちの裏に小学校に上がった子供がおりまして、うちの裏を通って皆が寄り集団登校していますから、そこへ行くのに畑を通らせてくれと。何でかなと聞いたら、この通学路、メインの学校の横の通りですねえ、ここを通ると危ないんで、うちの畑を通らせてくれと言っただけで快く承諾したんですけど、言われるかも知れないんですけど、そういう事例がありましたんでお願いできればと思います。大型車が通るのもただ単に通過するだけの大型車なんです。この通り沿いにはそういう大型車がいったん止まって荷を降ろすとかは一切無いんです。ただ通り過ぎるためだけのために、庄のメインの通学路を通らなきゃいかんのは考えものかなと思います。

《市長》

先ほどもちょっとお話が出ておりましたけれども、道路、ダンプ、大きなトラックとかのこと、心配だと思います。うちも市民の皆さんから連絡いただいたときには、県警にその都度、通報と言うんですか、言ったりしているんですけど、後でその場所を教えただけだといいと思いますけれども、交通のマナーの向上などもしっかり言わないといけないと思いますけれども、さっき言いましたような道の何か工夫で、高速で大きな車が来るのを嫌がるような何かやった方がいいのではないだろうかと思っております。今日、お話を伺いまして思いました。

学校の先生の事ですけど、今全般的に荒れる中学校と言うのが市内でも問題になっているわけです。そこについて、市もよく問題意識を持っておりまして、県と色んな対策を考えているんですが、警察がそのまま学校に指導に来るわけにもいかないものですので、そこをどうするかは、今検討中なんですけど、県も特に今年度、23年度は、特段のプロジェクトチームを設けて問題に対応していくと、市の方にも言っていただいておりますので、今よりはよくなるとうようにがんばりたいと思います。

《参加者 J さん》

栄養委員を長くやっておりますけれども、今年度から食育推進計画が今年度からまた始まっていると思うんです。私たち、栄養委員は数が少ない中で学区で活動をさせていただいているんですけども、皆さんに周知するのはとてもじゃないけれども、なかなかでき

ないものですので、広報紙か何かで食育推進計画の内容を判りやすく、報道していただければと思います。もう一つ、私たちここへ来て40年近くなるんですが、当時団地がずっと増えてきまして、その時は若かったんですけど、今は年をとってきて、皆さん夫婦がともにおって、運転ができる人が二人でおれば、まだ、買い物でも何でも行けるけれども、これが運転のできない一人になった場合に、とてもじゃないけれども過疎化して倉敷の過疎地域になっていってしまうと、心配しております。この点で交通に関しても、何かいいお考えを教えていただければと思いますので、この2点をお願いいたします。

#### 《市長》

まず食育のことについては、今後、何月号でできるとか決まっていなくても、今年度から始まる色々な計画について、広報紙でも順番に取り上げるように、できればしたいなとは思っております。その時、判りやすくしていきたいと思っております。

交通の面でございますが、市内の何処とも非常に難しい問題になっておりまして、倉敷駅を出発する縦の幹線道路しか、バス事業者が、今後運行していけないような状況に段々なってきております。横の流れとか、それから地域の中とか、その部分についてが、今御存知のようにこの地区では庄新町の乗り合いタクシーがございます。ただ、これは地区ごとに決まっているような状況になっていまして、つい先日も他の地区でも、乗り合いタクシーの推進を図りたいんだけどという御相談が段々最近多くなってきております。乗り合いタクシー、地域のコミュニティーとタクシーの推進をまず図ればと思っておりますが、そのために、町内会、自治会の皆さんとよく御相談しないといけないと思っております。まずそのあたりから進めていければなあと思っております。よくよく地域の皆さんと御相談させていただきたいなあと思っております。主として各地域で、タクシー、交通の話が出ておりますので、もっと改善したいと言う全般的な考えを持っておりますので、どうもありがとうございました。

今日は、雨の中色々な観点のから御意見を頂きまして、有難うございました。最後に一つだけ、この3月に倉敷市にとりまして、新たな産業で大きなことがありました。玉島のハーバーアイランドに、航空機産業の誘致をすることができまして、ハーバーアイランドで、国産航空機の大きな部品を作ることになりました。

多分これは、倉敷市内に今後1年2年という単位じゃなくて、長い単位で非常にいい影響を出してくれるのではないかと思っております。技術を水島、倉敷市内の中小企業の皆さん、非常に持っておられますので、幅広い航空機産業ですので、これから、もっと玉島ハーバーアイランド、まだ土地も空いておりますので、もうちょっと誘致するようにがんばりたいと思っております。市内全般にあたりまして、特に色んな産業で、農業それから工業、それから観光業など、一生懸命がんばってまいりたいと思っておりますので、今後とも宜しく願いいたします。今日は大変長時間にわたりまして有難うございました。